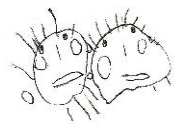


いっぽ だより



2024年度 No. 2

2024年5月28日

初夏の過ごしやすい季節を迎え、子どもたちは運動会体育祭の練習が始まっております。保護者の皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

さて、先日開催された、特定非営利活動法人はじめのいっぽの総会及び理事会では、新しい会員を二人迎えることとなりました。一人は先代の副代表をされていた安田正雄氏の次女であります、安田智穂さん。有機農業を生業にしております、いっぽの食卓に登る野菜を提供していただいております。

もう一人は、先日生まれた子羊たちを取り上げてくださった、愛二牧場の増田善三郎さんです。これからの法人に新しい風を呼び込んでくれると信じております。

そして私石橋和久は、令和3年11月から、妻わか子の志を引き継いで代表を務めてまいりましたが、高齢なことと体調面を理由に5月いっぱいで、代表理事を降りることいたしました。

6月からは山本寿果が、当法人の代表理事となり、法人を支えていくこととなります。13年前法人が出来て間もなく職員となり、“わか子先生”のそばで子どもへのまなごしを学び続けてきた者であり、いっぽに通ってきている子どもを、我が子だと思って本気で向き合う姿勢に、代表理事を任せられると判断しました。

私とは申しますと、もちろん今まで通り子どもたちの送迎などで、法人に協力することは変わりありませんが、6月からの新体制を、この場を借りてご報告させていただきます。

これからも、皆様のご理解とご協力を、どうぞよろしくお願い申し上げます。

名前はお兄さんがロコ、弟がモコです。
お母さんの背中の上でくつろぐモコです。

記：石橋 和久



絵 たかはた あかり ちゃん



お腹中にある赤ちゃんを描いたのか、生まれてお乳を飲んで
いる子羊なのか、見る人が想像して頂ければよいと思
います。大胆でのびのびした描き方がとても素敵です。

5月のスケジュール

| 日時 | 行事 |
|----------|-----------------------|
| 6月3日(月) | 紙芝居 |
| 6月17日(月) | 定例会議 |
| 6月22日(土) | いっぽ食堂(最終ページに案内があります。) |
| 6月28日(金) | あっちこっち紙芝居 |

小中学生編

ミーの子どもが誕生！

17日の朝、ミーの様子を見に行くと陣痛が始まっているようなのでバタバタと出産の準備を始めましたがなかなか生まれてきません。愛二牧場の善三郎さんに来ていただいて様子を見て頂くと、引っ張り出したほうが良いとの判断で12時ごろから介助を始めました。どうやら双子と分かり更には後の子が逆子らしいと難産が予想されました。お昼12:15最初の子が生まれ数分後に双子の弟が生まれました。生まれた子の呼吸を確かめすぐに母親の口元に持って行くとぺろぺろと舐め母親としての母性本能がひしひしと伝わってきます。数分後には立ち上がろうとする子羊たちにも感動し、お乳を探すしぐさにまたまた感動です。弟の子羊は体力がなく自分からお乳が飲めません。生まれて6時間以内のお乳(初乳)を飲むことが免疫がない子羊にとって最も大切な事なのでお乳を搾って(乳しぼりはひさか先生が得意!)哺乳瓶で飲ませてあげました。



陣痛が始まったようです。



生まれて3時間ほどの様子です。立ち上がったたり頭を起こして母親を呼び続けていました。



自分が選んだ出産場所は青空の下でした。



生まれて5日目、いっぽ広場デビューにチャレンジ!お母さんの後を必死で追いかけていく姿がなんとも可愛い。



子羊が生まれてから、子どもたちはランドセルを置く間も惜しんで向かう先は羊小屋、日々成長する子羊に感動しきりです。大勢で子羊の周りを囲むと母親も子羊もストレスをためてしまいます。今はそっと見守ることが大切な時期ということも子どもたちなりに感じているようです。その中でも羊の世話をずーと続けてくれているまほちゃんには代表で近くでお世話してもらっています。

子羊の誕生により、ミーの母性本能を目の当たりにしたり、母親にべったりついて歩く子羊の姿を見たり、親と子のつながりを見て、いっぽの子は今、何かを感じ始めているようです。





ハンター鬼ごっこ



鬼は僕たちだ！



4月にはぶら下がることもできなかったのに継続は力です。



いっぽ広場は大きな宝物です。



スタッフも勝てなくなった綱引き



途別で採ったワラビ
美味しいネ！



ひつじ組 編 (未就学児)

遊び道具は、
どこにもある！

5月の子どもの日が過ぎ、かたづけ途中のこののぼりで遊び始めた子どもたち、人魚姫になったり鯉に乗って遊び始めたりと手に取ったものは何でも遊び道具です。子どもたちの発想の豊かさに、改めて驚かされた出来事でした。



5月1日から仲間になってくれた「はるきくん」3才、元気いっぱいです。



制作の時間は一定時間、じっくり座って真剣そのもの。母の日制作に取り組む姿は、母を思って少しでも可愛らしく！という気持ちが伝わってきて、ほほえましくグッときてしまいました。6月になったら父の日がありますので、子どもの意見を聞きつつ、どのようなプレゼントにするか、職員一同アンテナを張り巡らせて考え中ですので、乞うご期待！

市内にはいろいろな公園が多くありますが、いっぼの広場にも発見がたくさんあります。羊が生まれてからは、その可愛らしさにくぎ付けになったり、土の中にいる何かの幼虫を発見して大騒ぎしたり！

大好きな仲間と一緒に育ちあっているなあと、日々実感しております。



仲間と共に
ひとつの事を
集中する！



幼児さんたちが初めて子羊に会ったのは、生まれて6日目。もうお母さんひつじと広場を元気に走りまわっています。「カワイイ！」を口にしながら、恐るおそるナデナデすることができました。



～みんなで作って食べよう～

いっぽ食堂！

石窯でピザを焼く！

日時：令和6年6月22日（土曜日）

時刻：11時～13時

場所：はじめのいっぽの広場（雨天決行）

料金：ピザ一枚200円（15センチ）

土曜日利用児童以外当日徴収します。

トマトが収穫できる季節には、手作りのトマトソースを作ってピザづくりをします。炭火の遠火で焼いたピザは、生地はカリッカリで香ばしく、チーズはトロットロでどこまでも伸びるほど。子供たちは度々ピザづくりをしておりますが、保護者の方々にもぜひあの感動を味わっていただきたく、今年度は手作りピザパーティーといたしました。

子どもたちと収穫した山菜を使った料理とスープもご用意いたします。

申し込みはLINEにて、人数とピザの枚数を、お知らせください。欠席の場合もお知らせください。申し込み締め切りは、6月15日厳守をお願いします。電話での問い合わせは、ご遠慮ください。又、麦音の移動石窯で焼いていただきます。ピザを焼く枚数に限りがありますので、待ち時間が発生しますこと、ご了承ください。